

恩師 安積桑野七十五期 主な同窓生へ発行部数三二〇部 老後の生き方を真剣に問いかける豆新聞 811 数字は卒業期

安七五期

葉書きの同級会

安積高校卒業OB美術展の案内の都合で飛び越してこの号が後になった。高校卒業以来連絡が取れなかった国分正司の住所が判って、安高入学50周年1年1組同級会を開催した。国分は参加者全員に自作の一輪差しをお土産に持ってきた。高校の頃は真黙な修行僧のような性格かと思つたのに大はしゃぎだった。同期会では見れない顔ふれも多く19人が出席。その中から数人紹介。菅井勉は上戸から汽車で通っていた。高校時代の話 遊び

に来た、友人と山に出掛けて山火事を起こしてしまった。実家の酒屋から消防団に酒を届け、てもみ消しを図ったと。大学の時からハワイアンに熱中。今でも養老施設に慰問に出かけるほど。阿久津正昭帝国ホテル勤務。菅井の山火事仲間である。仕事の話は何もしないで手の掌をみると言つ。ゴルフタコだ。同期会でゴルフをやっているなら連絡欲しいとの事。大西正大日立製作所勤務、これも山火事仲間。発電所の据付が仕事なので、一回出掛けると外国などは一年以上帰らない事もあり、せつかく家に帰っても大きく育つた子供に泣かれる事もあった。渡辺(佐々木)剛

須賀川駅近くで建材店を営む。高校生の時は下宿していたが、二年までは自炊生活をしていた。当時は冷蔵庫など無く腐った物を食べ、学校で腹痛を起した事が有った。増子秋夫来る前に伊藤正志宅で線香を手向けて来た。テレビ共聴の仕事を営む。体が小さく自転車に乗るのに高下駄を履いて漕いで通っていた。長沼汎自営のニツト屋をしながら長生きの母の面倒を見る。深谷秀三家族共々卓球三昧の毎日。福島県卓球協会会長 国分洋こちらは女子高生相手にボールならぬ尻を追い続け福島県ソフトボール協会理事長 前記OB美術展の最終日に出展者の本

信公久を困んで前期同級会延長戦を熊田喜宣が開催。二回続けて出席した人、国分洋 郡司伊勢夫、矢内健雄 矢内は帝京安積高校を退職後は毎年避寒を兼ねて長期間タイに滞在する。今回は俺も連れて行つて貰おう。一〇月二日に福島県三曲連盟演奏会がある。三曲とは箏・二弦・尺八の事。そこに我が同期生、小沼利正、神山靖範、根本宏一が流派を超えて尺八で合同演奏をする。岩瀬成紘は月々木まで東京かよいで金土は奥さんと一緒に動物病院を郡山東高校前にオープン、と阿部栄夫が気をもむが『阿部先生大丈夫だ、あんたは沢山お客さんいるから』。

無責任編集 敬称略御容赦 郡山市熱海町熱海四の二九 村田英男 連絡は FAX0249-84-2131 deo@kirakuyajp ㊦